

4

秋田の海を守るためには？

ごみを減らすこと、発生したごみはきちんと処分することが、美しい海岸を守ることに繋がります。

Reduce 【リデュース】（ごみを減らす）

1. 買う前に本当に必要なものかどうか考え、長く使えるものを選びましょう。
2. マイバック、マイボトルを持参し、使いましょう。
3. 冷蔵庫、冷凍庫を上手に使い、食品ロスを減らしましょう。

**Reuse** 【リユース】（繰り返し使う）

4. こわれたものを簡単に捨てず、修理して使いましょう。
5. いらなくなったものは捨てずに必要な人にゆずりましょう。
6. リユースショップ（リサイクルショップ）を活用しましょう。

**Recycle** 【リサイクル】（資源として再び利用する）

7. びん、缶、ペットボトル、金属類、古新聞や古紙などは、分別して資源回収に出しましょう。
8. 修理できない小型家電は、回収ボックスに出しましょう。
9. リサイクルされた製品を選んで使いましょう。



清掃活動に積極的に参加しよう！

クリンちゃん

秋田県環境美化マスコットです。広げた両腕から飛び出そうとする花（ハート）・緑（葉）・夢（星）は、私たちの手で美化に取り組むことにより、未来に向かって秋田県が向上していくことをイメージしています。

【編集・発行元】 秋田県生活環境部 温暖化対策課

〒018-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1560
E-mail en-ondanka@pref.akita.lg.jp

できることから始めよう！
みんな
ストップ・ザ・温暖化あきた



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

海岸漂着物等
発生抑制普及
啓発事業

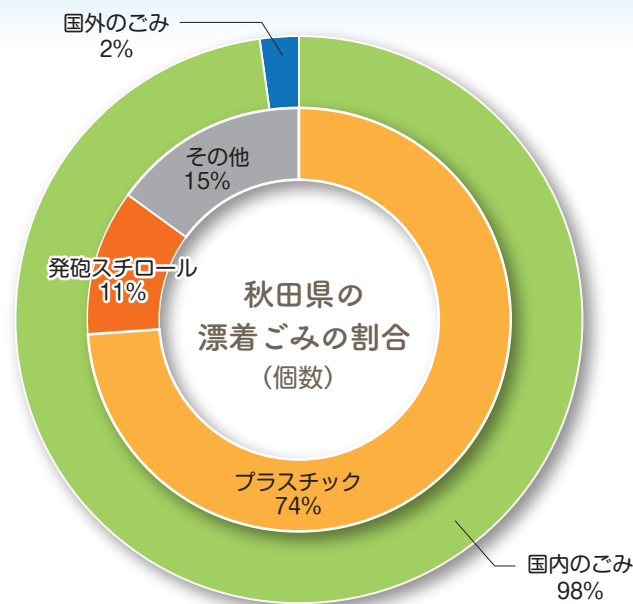
海岸を美しく保つために私たちが
できることは何か考えていきましょう。

美しい秋田の海を
守るために

秋田県

I

海岸漂着ごみはどんなもの？



2017年度「秋田県海岸漂着物調査」の調査結果より
(釜谷浜、道川、平沢海水浴場の3か所)

2017年の秋田県の調査では、海岸漂着ごみの98%以上が国内のごみで、そのうち約4分の3はペットボトルや洗剤容器などのプラスチックごみでした。



POINT

海岸漂着ごみの約4分の3は、国内のプラスチックごみ。

2

海岸漂着ごみはどこから？

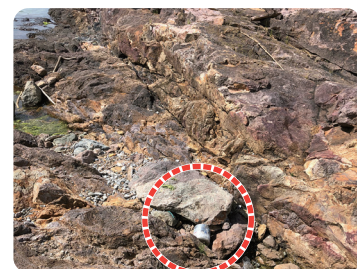
2018・2019年の調査では、GPS発信機をつけたフロートを秋田県の河川に流しました。その結果、秋田県の河川の上流のフロートは下流に流れ、さらには海に流出することがわかりました。フロートの一部は対馬海流に乗り、秋田県だけでなく他県の海岸にも流れ着きました。潮の流れに乗ったごみは、太平洋に出て行く可能性も考えられます。



川を漂流するフロート



潟上市出戸浜付近



八峰町岩館海岸



青森県下北半島



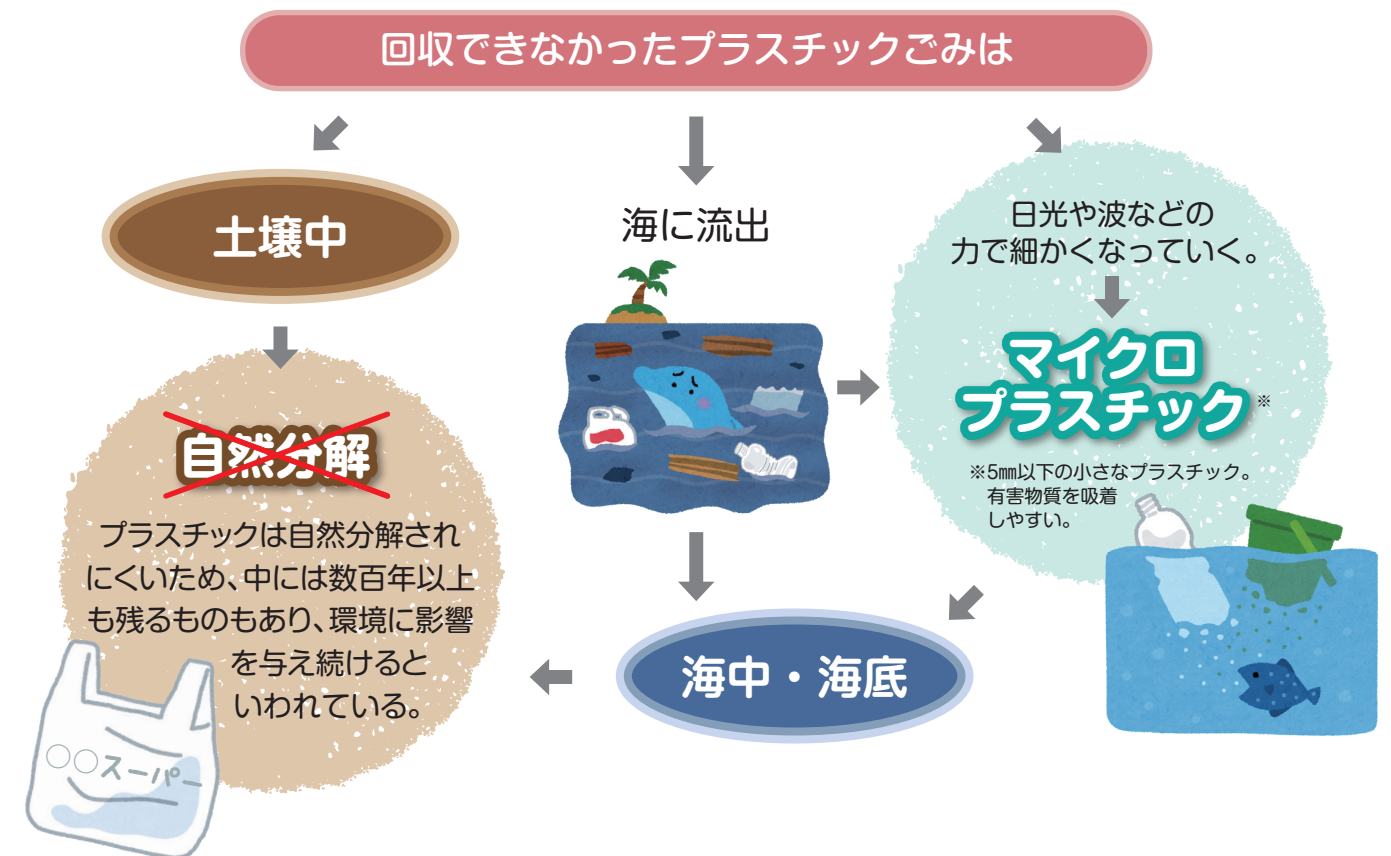
POINT

河川に流出した街中のごみは、他の県や太平洋まで漂流する。

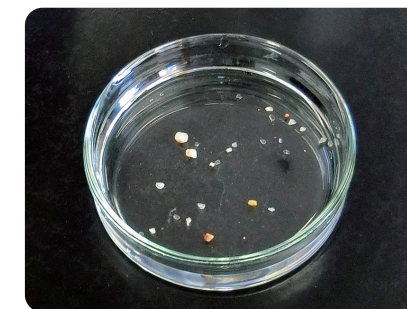
3

プラスチックごみはどうなる？

プラスチックごみを含む海岸漂着ごみは、秋田県や沿岸の各市町村で回収・処理しています。2018年度に回収・処理された海岸漂着ごみは588トンで、約4,700万円もの費用がかかりました。



プラスチックごみ、マイクロプラスチックは、海の生物の誤食により、内臓に傷がついたり、有害物質が体内に蓄積したりします。さらに、食物連鎖により上位の生物に有害物質が蓄積（生体濃縮）されるなどの悪影響を及ぼすと考えられています。秋田県の沿岸でもマイクロプラスチックが見つかっています。



秋田市桂浜海岸で調査したところ、2018年は34個、2019年は12個のマイクロプラスチックが見つかりました。

POINT

プラスチックごみ・マイクロプラスチックなどの海洋ごみは、海洋環境を悪化させるだけでなく、生態系への影響が心配されている。